

君津中央病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	Muir-Torre 症候群（皮膚病変を伴う Lynch 症候群）に対する実態調査のための多施設共同後ろ向き観察研究
当院の研究責任者 （所属）	須田竜一郎（外科）
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	日本消化器病学会所属の研究参加施設 本施設を含む 16 施設 国立がん研究センター 中央病院 山田真善 石川消化器内科 石川秀樹 岩国医療センター 田中屋宏爾 がん研究会有明病院 千野晶子 君津中央病院 須田竜一郎 九州大学病院 梅野淳嗣 国立がん研究センター中央病院 山田真善 埼玉医科大学総合医療センター 鈴木興秀 産業医科大学 平田 敬治 静岡がんセンター 松林宏行 静岡県立総合病院 佐藤辰宣 筑波大学附属病院 山本祥之 都立駒込病院 山口達郎 徳島大学大学院 高山 哲治 浜松医科大学 阪田 麻裕 広島大学 ト部祐司 星総合病院 勝部暢介
本研究の目的	リンチ症候群は遺伝性大腸がんの一つで、遺伝子の傷を修復するミスマッチ修復遺伝子(MLH1, MSH2, MSH6, PMS2, EPCAM)の変

	化が原因として知られています。大腸がんのほか、子宮内膜、卵巣、胃、小腸、肝胆道系、腎盂・尿管がんなどの発症リスクが高まる疾患です。一部の方には、皮膚に病変(脂腺系腫瘍:皮脂腺腫/皮脂腺上皮腫/皮脂腺癌、またはケラトアカントーマ)を生じることが知られており、特に Muir-Torre (ミュア・トレ) 症候群と呼ばれています。これまでに日本では、ミュア・トレ症候群に関する全国的な調査はされていません。ミュア・トレ症候群、すなわち皮膚病変を伴うリンチ症候群の方の診療情報を調べることにより、皮膚症状の現れ方(病気の種類、発生年齢、発生部位等)と遺伝情報、その他の症状(他の臓器での腫瘍の有無等)や家族歴について関連があるかどうかを、本研究をもって明らかにすることを目的としています。
調査データの 該当期間	2016 年 1 月から 2023 年 3 月
研究の方法 (対象となる方)	遺伝学的検査でリンチ症候群と診断された患者さんのうち、皮膚病変を伴う患者さん
研究の方法 (使用する情報)	質問票を用いてカルテより診療情報(カルテ番号、ミスマッチ修復遺伝子の状態、ご本人の病歴、治療歴、手術等で摘出した組織の病理組織学的診断および免疫組織化学染色の結果、ご家族の病歴など)を収集し、解析します。
資料・情報の他機関 への提供	当院以外の研究機関への試料の提供はありません。当院から国立がん研究センター中央病院またはデータセンターへの情報提供の際は、調査票に記入し、郵送にて提供します。また、データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。 本研究で収集した情報は、本研究の研究目的と相当の関連性のある別研究に将来的に利用する可能性(Lynch 症候群を含む遺伝性腫瘍症候群などにおける実態調査)又は他機関に提供される可能性があります。実際に二次利用する研究を行う時には、倫理審査委員会に申請する等の適正な手続を踏んで行われます。

個人情報の取扱い	患者さん個人を特定しうる情報はすべて除去し、個人が特定されないよう加工します。個人情報の加工にあたっては対応表を作成しますが、対応表は当院の個人情報管理者または個人情報分担管理者が適切に管理します。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究は、日本消化器病学会関連研究会「がんゲノム医療時代におけるリンチ症候群研究会」の研究費を使用して実施されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 研究責任者： 君津中央病院 外科 須田竜一郎 〒292-8535 千葉県木更津市桜井 1010 TEL：0438-36-1071
備考	